※令和４年度以降入学生用

学校番号	404

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	(学)前近代史	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「日本史探究」（実教出版）						
副教材等	「図説　日本史通覧」（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

講義形式の授業を中心にしながらも、必要に応じて、課題学習や協働学習を実施する。教科書や史料から問題を解き、知識・技能の定着をはかり、プロジェクターの使用やDVDなど視聴覚教材も利用し、協働学習や課題探究の時間を取り入れることで思考力・判断力・表現力を育む。また、課題学習や日々の授業などで学習に向かう意欲や態度を評価する。

2　学習の到達目標

中世における武家政権成立という我が国の歴史的過程を政治面だけではなく、公家勢力や旧仏教勢力が担っていた生活や文化の特色にも着目し、さらに地域的な特色にも理解と知識を深め、国際社会を主体的に生きる、民主的な社会の一員としての自覚を養う

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	原始・古代から中世への我が国歴史の展開を、アジア地域と関連付けて総合的に理解し知識を深め、考古学資料や諸史料を含め、情報を読み取る技能を身につける。	歴史の展開からそれぞれが課題を見いだし、アジア地域との関りなど、世界史的視野を忘れず、我が国の文化・伝統の認識を深め、多角的な考察からの発表をする。	ダイナミックに変化する歴史展開に対して関心と意識を高め、日本の歴史や他国の歴史や文化に対して、主体的に学ぼうとする態度をはぐくむ。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	原始古代の日本と東アジア	日本文化のあけぼの ヤマト政権の成立と古墳文化	a: 時代の変化を、基本的な事項を理解し、世界の動きと関連して理解し、その知識を身につけるとともに、諸史料を読みこなし、有用な情報を選択して、自分でまとめる b: 日本の歴史をアジアの動きとの関連も考え、多面的多角的に考察している c:原始から古代への変遷に関心を持ち、意欲的に授業に集中し、史料に接する	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	ワークシート 振り返りワーク
		律令国家の形成		定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	ワークシート 振り返りワーク
2学期		古代国家社会の変容		定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りワーク
	中世日本と世界	荘園公領制の成立と院政	a: 貴族政治の変容、武士の政治進出などをもとに古代から中世への転換を理解し知識を深めるとともに、中世の特色ある資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	ワークシート 振り返りワーク
3学期		中世国家・社会の展開	b: 権力の主体の変化や東アジアの影響による変容を多面的多角的に考察する。 c: アジア地域との関係と成長する庶民を中心とした国内の動き、新しい国際関係を意欲的に考察する。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	ワークシート 振り返りワーク

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度